

校長室だより

平成28年10月24日（月）

羽咋市立瑞穂小学校 No.6



共 育

秋祭りも終わり子どもたちは学習に運動に一生懸命がんばっています。

10月19日は、本校の人権教育研究発表会の日でした。当日は授業参観も兼ねていましたが、県や市の教育委員会の先生方や市内各小中学校の先生方も多数ご来校になり本校の教育活動をご覧になりました。

公開授業では、1, 2年生は生活科、3～6年生は総合的な学習の時間の学習を行いました。どの学年も自分の考えを出し合い、課題を解決しようと一生懸命に取り組んでいました。細かな様子はそれぞれの学級通信などでお知らせしていますが、本号では5～6年の授業の様子をご紹介します。

5年生 「みずほっ子Smile プロジェクト ～みんなが笑顔になるために～」

例年、本校では5年生が絆コンサートで『絆アップ宣言』を行い、来年度に向け、瑞穂小学校がどのような学校を目指すかを全校にわかる言葉で呼びかけます。そして、この日6年生から5年生へと、高学年として瑞穂小を引っ張っていくリーダーのバトンが渡されることとなります。

そこで、今年の5年生は、学校のみんが笑顔で学校生活を送れるようにするには、どのようなことに取り組めばいいかを、共に羽咋中学校に通うことになる羽咋小学校、栗ノ保小学校、西北台小学校の活動を参考に考えることにしました。

直接、それぞれの学校に足を運びリサーチをさせていただきました。それぞれの学校では、丁寧に説明やプレゼンテーションをしていただき、どの学校も、自分の学校をよくしようとがんばっている姿に、とてもよい刺激をもらったようです。

そして、19日の授業では調べてきたことをもとに、よりよい学校にするために自分たちができることについて考えを出し合いました。



絆コンサートでも、この学習を活かした『絆アップ宣言』がされるものと思います。

6年生 「羽咋幸せ向上委員会」

6年生は羽咋市をよりよい市にするために、自分たちができることを考え、関係する機関に向けて提案をするという目標を掲げて学習に取り組んでいます。

羽咋市がもっとよくなるためにどんなことが考えられるか、「環境・自然・安全・福祉・観光」の5つの分野に分かれ、まず、家の人などにアンケートを行い、実態を調査してから、実際に現地取材したりインターネットや資料などで調べたりしながら提言を練っていきました。



10月19日の研究発表会の折には、自分たちが考えた提言について、関係機関の方を



ゲストティーチャーにお招きしアドバイスをいただきました。どのグループも専門家の視点から改善点を教えていただき、現在は、再度、考えを練り直す段階に入っています。

今後は直接、市役所に出向き、羽咋市役所総務課の方に、自分たちが考えた提言について聞いていただくことになっています。

お礼

秋晴れの清々しいお天気のもと、多くの方々に支えられて無事、研究発表会を終えることができました。学校の環境整備にご尽力いただきました老人会の皆さまや学習活動の遂行にご協力いただきました各小学校、各機関の皆さま、そして、当日の運営に多大なご尽力を頂きましたPTA会員の皆さま、本当にありがとうございました。また、ご参観いただきました皆さまや、これまでご家庭で子どもたちを励まし続けてくださいました皆さまにも心より感謝を申し上げます。

PTA濱名会長さんの手作りによるのぼり旗にあるように、今後とも、心を一つに「みんながずっとほほえんで」過ごせる学校づくりをめざして、職員一同、取り組んでまいります。

どうか今後ともご支援をよろしく申し上げます。

